



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE Helion CloudSystem 10.0 ト ラブルシューティングガイド

## 摘要

本情報は、**HPE Helion CloudSystem ソフトウェア 10.0** を使い、仮想データセンターで展開して使用する、コンピュータリソースの構成およびプロビジョニングを担当する管理者を対象としています。

部品番号: 5200-0258  
2016 年 9 月  
第 1 版

© Copyright 2014, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

#### **商標**

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

VMware® vCenter™ および VMware vSphere® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標です。

# 目次

<b>1 インストールのトラブルシューティング</b> .....	5
管理ホストの時刻が NTP サーバーと同期されていない場合に、展開に失敗する.....	5
ESXi を FQDN で vCenter に登録し、インストール中に DNS サーバーが指定されていない場合に、展開に失敗する.....	5
インストールの成功後、csdeploy によって未処理の例外が報告される.....	6
vmnics が vCenter で識別されず、ESXi のインストールが失敗する.....	6
<b>2 ネットワークのトラブルシューティング</b> .....	7
現在アクティブな L3 エージェントをホストしているノードのネットワーク障害.....	7
<b>3 コンピュートホストのトラブルシューティング</b> .....	8
展開およびアクティブ化エラーのログファイルの確認.....	8
大規模な ESXi 環境で、クラウドコントローラーが NTP で同期されない.....	9
VDS とアップリンクポートグループが同じ名前を使用していると、ESXi コンピュートクラスタのアクティブ化が失敗する.....	9
ESXi コンピュートクラスタのアクティブ化が SSH 接続のタイムアウトエラーによって失敗する.....	10
展開アプライアンスが iLO に接続できず、HPE Linux または RHEL KVM のコンピュートホストのプロビジョニングが失敗する.....	10
UEFI ノードで、RHEL KVM のコンピュートホストのプロビジョニングが失敗する.....	10
HYPER-V のコンピュートホスト環境で、Nova サービスのステータスが頻繁に変更される.....	11
site.yml の Playbook を実行しているときに、vCenter のパスワードのアップデートが失敗する.....	12
vCenter でブレードをスワップアウトすると、HPE OneView でエラーメッセージが表示される.....	12
<b>4 管理アプライアンスとオペレーションコンソールのトラブルシューティング</b> .....	13
HPE OneView アプライアンスへの接続のテストが成功しない.....	13
アプライアンスが 2 回接続されているため、HPE OneView の検出が成功しない.....	13
オペレーションコンソールが応答しない.....	14
Keystone サービスのパスワード変更後に、オペレーションコンソールアプライアンスの画面にデータが表示されない.....	14
新しいコンピュートの詳細ページに移動しても、アラームカウントが更新されない.....	15
Keystone サービスのパスワードを変更すると、バックアップが失敗する.....	15
RabbitMQ サービスのパスワードを変更すると、バックアップおよび HPE OneView との統合が失敗する.....	16
サービスのパスワードを変更した後、オペレーションコンソールを起動できない.....	16
最初の管理アプライアンスがダウンしている場合、ストレージ操作が無期限にキューに入る.....	17
<b>5 クラウドコントローラーと OpenStack ユーザーポータル</b> のトラブルシューティング.....	18
KVM グループに権限が適切に設定されていないため、RHEL KVM インスタンスを起動できない.....	18
大規模な ESXi 環境で、インスタンスへのボリュームの接続がタイムアウトする.....	18
プロジェクト管理者としてプロジェクトのメンバーを管理しようとしても、ユーザーまたはグループのリストを取得できない.....	19
<b>6 エンタープライズアプライアンスのトラブルシューティング</b> .....	20
エンタープライズアプライアンスを再起動すると、ダウンしたサービスのステータスがオペレーションコンソールに適切に表示されない.....	20
エンタープライズアプライアンスの予期しないシャットダウンまたは再起動後、HPE CSA にエラーが表示される.....	21
HPE OneView または ICsp プロバイダーを使用してトポロジコンポーネントをインポートできない.....	21

1つ以上の外部ネットワークがあるため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する.....	22
プライベートネットワークの名前にピリオドが含まれているため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する.....	22
複数のアベイラビリティゾーンがあるため、OpenStack プロバイダーを使用した、ブロックストレージボリュームを含むサブスクリプションのデプロイが失敗する.....	22
サービスインスタンスのアップグレード機能でシーケンス設計をアップグレードできない.....	23
<b>7 監視のトラブルシューティング.....</b>	<b>24</b>
コンピュータホストを非アクティブ化した後にアラームが削除されない.....	24
<b>8 バックアップ、復元、リカバリのトラブルシューティング.....</b>	<b>25</b>
バックアップまたは復元が正常に完了した後でも、Attis のジョブタスクが進行中のままになる.....	25
バックアップログに複数のエントリーが表示される.....	25
<b>9 コマンドラインインターフェイスのトラブルシューティング.....</b>	<b>26</b>
1 度に 1 つの csoperate コマンドしか実行できない.....	26
csoperate を使用した NTP サーバーのアップデートに、手動によるインストールオプションファイルの変更が要求される.....	26
<b>A サポートと他のリソース.....</b>	<b>28</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	28
ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービス.....	28
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録.....	28
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法.....	28
コンサルティングおよびインストールサービス.....	29
クラウド向けの HPE データセンターケア.....	29
セキュリティ管理.....	29
ディスカッションへの参加.....	29
アップデートへのアクセス.....	29
Web サイト.....	30
参考ドキュメント.....	30
HPE Helion CloudSystem のドキュメント.....	30
HPE Helion OpenStack のドキュメント.....	31
HPE Insight Management ドキュメント.....	31
サードパーティのドキュメント.....	31
HPE 3PAR StoreServ のドキュメント.....	32
HPE VSA StoreVirtual のドキュメント.....	32
HPE ProLiant サーバーのドキュメント.....	32
カスタマーセルフリペア.....	32
リモートサポート (HPE 通報サービス).....	32

# 1 インストールのトラブルシューティング

- 管理ホストの時刻が NTP サーバーと同期されていない場合に、展開に失敗する (5 ページ)
- ESXi を FQDN で vCenter に登録し、インストール中に DNS サーバーが指定されていない場合に、展開に失敗する (5 ページ)
- インストールの成功後、csdeploy によって未処理の例外が報告される (6 ページ)
- vmnics が vCenter で識別されず、ESXi のインストールが失敗する (6 ページ)

## 管理ホストの時刻が NTP サーバーと同期されていない場合に、展開に失敗する

### 症状

KVM 環境で Helion CloudSystem の展開に失敗し、次のエラーが表示されます。

```
TASK: [KEY-API | start | Make sure keystone is up and responding].
```

### 原因

KVM 管理ホストが外部 NTP サーバーと同期されていません。

### アクション

1. NTP サーバーを管理ホストにインストールし、同期します。
  - a. 管理ホストにログインします。  
NTP サーバーがすでにインストールされている場合は、手順 1e に進みます。
  - b. NTP をインストールします。  

```
yum install ntp
```
  - c. NTP サーバーを NTP 構成ファイルに追加します。  

```
sudo vi /etc/ntp.conf
```

```
# Use public servers from the pool.ntp.org project.
```

```
# Please consider joining the pool (http://www.pool.ntp.org/join.html).
```

```
server <NTP-server-IP> prefer
```

```
server 0.rhel.pool.ntp.org iburst
```

```
server 1.rhel.pool.ntp.org iburst
```

```
server 2.rhel.pool.ntp.org iburst
```

```
server 3.rhel.pool.ntp.org iburst
```
  - d. NTPD サービスを再起動します。  

```
service ntpd start
```
  - e. ホストを NTP サーバーと同期します。  

```
ntpdate -u <NTP-server-IP>
```
2. Helion CloudSystem の展開を再試行します。

## ESXi を FQDN で vCenter に登録し、インストール中に DNS サーバーが指定されていない場合に、展開に失敗する

### 症状

ESXi 環境で Helion CloudSystem の展開に失敗し、次のエラーが表示されます。

```
TASK: virtual_machine/commands/create : Import OVF.
```

## 原因

ESXi ホストが FQDN で vCenter に登録され、次のいずれかの状態となっています。

- DNS サーバーが、`cs-setup-esx.yml` の `dns-settings`、およびインストール構成 `.yml` ファイルまたは Helion CloudSystem Deployer UI で指定されていない
- 指定された DNS サーバーで、サーバーの ESXi ホストの FQDN を解決できない

## アクション

1. `cs-setup-esx.yml` の `dns-settings` で DNS サーバーを指定します。
2. `csdeploy setup` を実行します。
3. Helion CloudSystem を再デプロイして、次のいずれかで DNS サーバーを指定します。
  - `cs-install-options.yml` (`csdeploy CLI` を使用している場合)、または
  - Helion CloudSystem Deployer UI

## インストールの成功後、csdeploy によって未処理の例外が報告される

### 症状

Helion CloudSystem をインストールするために `csdeploy` を実行すると、`Installation Completed Successfully!` というメッセージが表示されます。概要セクションの後には、次のメッセージが表示されます。

```
Unhandled exception in thread started by bound method CSDeploySocketListener.listen of cs.installer.job.async.CSDeploySocketListener object
```

### 原因

インストール後のクリーンアップタスク中にエラーが発生しました。

### アクション

このエラーを無視します。インストールは正常に完了しました。

## vmnics が vCenter で識別されず、ESXi のインストールが失敗する

### 症状

Helion CloudSystem を ESXi ハイパーバイザーにインストールするために `csdeploy` を実行した後、`"Defined devices ['vmnic0', 'vmnic1'] do not match vSwitch vSwitch0 uplinks set(['vmnic0'])"` というメッセージが表示されます。

### 原因

vCenter の管理クラスターの一部であるすべての ESXi ホストの vSwitch で、`vmnics` が定義されていません。

### アクション

1. vCenter を開きます。
2. 管理クラスターの一部である各 ESXi ホストの vSwitch に、`vmnics` を手動で追加します。
3. `csdeploy` を実行します。

## 2 ネットワークのトラブルシューティング

- [現在アクティブな L3 エージェントをホストしているノードのネットワーク障害 \(7 ページ\)](#)

### 現在アクティブな L3 エージェントをホストしているノードのネットワーク障害

#### 症状

仮想マシンインスタンスの浮動型 IP アドレスに到達できません。

#### 原因

物理的なネットワークの問題によってアクティブな L3 エージェントが隔離され、予定通りスタンバイの L3 エージェントに引き継がれました。物理的なネットワークの問題が解決されると、「スプリットブレイン」状態（複数のレプリカがマスターとしてマークされている状態）となり、仮想マシンへのトラフィックが中断されます。

#### アクション

1. 元のマスターである L3 エージェントを再起動します。  
元のマスターを再起動すると、構成（`nopreempt` フラグ）に基づいて、元のマスターはスタンバイ（`nopreempt` がフォールスに設定されている場合）またはマスターとなります。
2. 「スプリットブレイン」状態を軽減するため、クラウドコントローラーに向けて構成したマルチシャーシリンクアグリゲーション（MLAG）および NIC ボンディングを使用した HA ネットワーク構成を準備し、システムレベルの冗長性とネットワークレベルの復旧性を備えることを推奨します。また、TOR スイッチの ARP タイムアウトを減らすことも推奨します。

## 3 コンピュートホストのトラブルシューティング

- 展開およびアクティブ化エラーのログファイルの確認 (8 ページ)
- 大規模な ESXi 環境で、クラウドコントローラーが NTP で同期されない (9 ページ)
- VDS とアップリンクポートグループが同じ名前を使用していると、ESXi コンピュートクラスタのアクティブ化が失敗する (9 ページ)
- ESXi コンピュートクラスタのアクティブ化が SSH 接続のタイムアウトエラーによって失敗する (10 ページ)
- 展開アプライアンスが iLO に接続できず、HPE Linux または RHEL KVM のコンピュータホストのプロビジョニングが失敗する (10 ページ)
- UEFI ノードで、RHEL KVM のコンピュータホストのプロビジョニングが失敗する (10 ページ)
- HYPER-V のコンピュータホスト環境で、Nova サービスのステータスが頻繁に変更される (11 ページ)
- site.yml の Playbook を実行しているときに、vCenter のパスワードのアップデートが失敗する (12 ページ)
- vCenter でブレードをスワップアウトすると、HPE OneView でエラーメッセージが表示される (12 ページ)

### 展開およびアクティブ化エラーのログファイルの確認

#### 症状

ESXi、RHEL KVM、HPE Linux、HYPER-V のコンピュータホストのプロビジョニングまたはアクティブ化の際に、エラーが表示されます。

#### 原因

コンピュータホストのプロビジョニングまたはアクティブ化の際には、複数の問題が発生する可能性があります。

#### アクション

1. **展開**アプライアンスのログファイルで、構成プロセッサの実行に関するエラーを確認します。
  - /var/log/configuration\_processor/errors.log
  - /var/log/hlm-ux-services/service.log
  - /var/log/cobbler/cobbler.log
2. **展開**アプライアンスで次のログファイルを確認し、Ansible の Playbook のエラーを探します。
  - ~/.ansible/ansible.log
3. 最初の**管理**アプライアンス (mgmt-m1) で次のログファイルを確認し、コンピュータホストのプロビジョニングまたはアクティブ化の際のエラー、もしくはアクティブ化後または非アクティブ化後のエラーを探します。
  - /var/log/eon/eon-api.log
  - /var/log/eon/eon-conductor.log



# 大規模な ESXi 環境で、クラウドコントローラーが NTP で同期されない

## 症状

ESXi コンピュートクラスターで 6,000 以上の仮想マシンインスタンスを実行している環境の場合、Nova conductor サービスおよび Nova scheduler サービスのステータスがダウンとなります。1つのクラウドコントローラーノードでサービスを再起動した後も、ほかのコントローラーノードで実行しているサービスはダウンしたままです。

## 原因

クラウドコントローラーノードが NTP で同期されていません。

## アクション

1. 最初のクラウドコントローラーノード (cc-m) にスタック認証情報でログインします。
2. NTP による同期を確認します。

```
stack@cs-ccp-cc-m1-clm:~$ ntpq -p
```
3. NTP synchronized 行を探します。値が **no** の場合は、手順 4~7 を実行します。

```
NTP synchronized: no
```
4. NTP による同期を再起動します。

```
service ntp stop
ntpdate cs-ccp-mgmt-m1-clm
service ntp start
```
5. スタック認証情報を使用して、展開ノードにログインします。
6. Ansible の Playbook を実行します。

```
cd /scratch/ansible/next/hos/ansible
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts osconfig-run.yml
```
7. 次のコマンドを実行して、Nova サービスが起動されていることを確認します。

```
nova service-list
```

# VDS とアップリンクポートグループが同じ名前を使用していると、ESXi コンピュートクラスターのアクティブ化が失敗する

## 症状

ESXi コンピュートクラスターをアクティブ化しようとする時、eon-conductor.log ファイルに次のエラーが表示されます。

```
ERROR eon.virt.manager [-] 'vim.dvs.DistributedVirtualPortgroup'
object has no attribute 'AddDVPortgroup_Task'
```

## 原因

vSphere 分散スイッチ (VDS) と VDS のアップリンクポートグループに対して、コンピュータ vCenter 内で同じ名前が割り当てられており、その名前がアクティベーション中の管理リンクスイッチ名として指定されています。

## アクション

1. VDS またはアップリンクポートグループの名前を変更します。
2. コンピュートクラスターのアクティブ化を再試行します。

# ESXi コンピュートクラスタのアクティブ化が SSH 接続のタイムアウトエラーによって失敗する

## 症状

ESXi コンピュートクラスタをアクティブ化しようとする、展開アプライアンスの `~/.ansible/ansible.log` ファイルに次のエラーが表示されます。

```
SSH Error: ssh: connect to host <ovsvapp-ip> port 22: Connection timed out
SSH Error: ssh: connect to host <compute-proxy-ip> port 22: Connection timed out
```

## 原因

CONF ネットワーク構成または CONF ネットワークゲートウェイの問題が発生しています。

## アクション

1. CONF ネットワークのタグが解除されていて、アクティブ化の間に適切なアップリンク (vnic) が管理トランクインプットとして指定されていることを確認します。
2. Helion CloudSystem 展開中に CONF ネットワークゲートウェイを指定する場合、ゲートウェイが有効であり、パケットをルートするように構成されていることを確認します。
3. 必要に応じて、`csoperate network update-gateway` コマンドを使用してゲートウェイを変更します。

詳しくは、[Enterprise Information Library](#) にある『HPE Helion CloudSystem 10.0 Command Line Interface Guide』を参照してください。

# 展開アプライアンスが iLO に接続できず、HPE Linux または RHEL KVM のコンピュータホストのプロビジョニングが失敗する

## 症状

HPE Linux のコンピュータホストのプロビジョニング中、次のエラーが表示されます。

```
Registering resource failed. Reason: 'Unable to communicate with the ILO'
```

## 原因

展開アプライアンスが iLO IP アドレスにアクセスできません。または、`ilo-user` に必要な権限がありません。

## アクション

以下を確認してください。

- 展開アプライアンスから iLO を ping できる。
- `ilo-user` に、管理ユーザーアカウントを含むすべてのユーザー権限が与えられている。オペレーションコンソールまたは `eon resource-add` コマンドのコンピュータホストのアクティブ化ダイアログで、`ilo-user` を指定している。

# UEFI ノードで、RHEL KVM のコンピュータホストのプロビジョニングが失敗する

## 症状

RHEL KVM のコンピュータホストのプロビジョニング中にサーバーが PXE ブートを実行しますが、`initrd_switch_root` サービスを起動できないため、オペレーティングシステムをインストールできません。Failed to start switch root というエラーが表示されます。

## 原因

UEFI ノードに RHEL KVM をインストールしようとしています、これには追加のインストール手順が必要です。

## アクション

HPE Helion CloudSystem では（新型のサーバーで BIOS に代わって使用される）UEFI をサポートしていますが、引き続きレガシ BIOS もデフォルトでサポートされています。

次のいずれかを実行します。

- UEFI ノードに RHEL KVM のコンピュータホストをプロビジョニングするには、**Enterprise Information Library** の『HPE Helion CloudSystem 10.0 Administrator Guide』で、「(Optional) Install an RHEL KVM compute host on an UEFI node」を参照してください。
- ブート設定を UEFI から BIOS に変更し、レガシ BIOS ノードのプロビジョニングを再試行します。

# HYPER-V のコンピュータホスト環境で、Nova サービスのステータスが頻繁に変更される

## 症状

Hyper-V のコンピュータホストで 1,000 以上の仮想マシンを実行している環境では、Nova サービスのステータス（アップまたはダウン）が頻繁に変更されます。

## 原因

デフォルトのサービスダウンタイムの変数である 60 秒は、環境に対して短かすぎます。

## アクション

1. スタック認証情報で展開アプライアンスにログインします。
2. 次のファイルを編集します。  
`/home/stack/helion/hos/ansible/roles/nova-common/templates/nova.conf.j2`
3. たとえば 300 秒など、新しいタイムアウト値を秒単位で追加します。必要に応じて、別の値を指定することもできます。  
既存の行の後に、次の行を追加します。

```
rootwrap_config = {{rootwrap_config}}
service_down_time = 300
```
4. ファイルを保存します。
5. 次のコマンドを実行して更新されたファイルを確認します。

```
cd /home/stack/helion/hos/ansible
git add -A
git commit -m 'Free RDP'
```
6. Ansible の Playbook を実行します。

```
ansible-playbook -i hosts/localhost config-processor-run.yml
ansible-playbook -i hosts/localhost ready-deployment.yml
cd /home/stack/scratch/ansible/next/hos/ansible
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts nova-reconfigure.yml -l *ccp-cc-m*
```
7. 以下のコマンドを実行して、Nova サービスのステータスが常にアップになっていることを確認します。

```
nova service-list
```

# site.yml の Playbook を実行しているときに、vCenter のパスワードのアップデートが失敗する

## 症状

vCenter のパスワードがアップデートされません。

## 原因

vCenter のパスワードのアップデート中、複数のサービスによって一連の Playbook が呼び出され、`eon conductor.log` ファイルで失敗の理由が `site.yml` の Playbook であることが示されます。

## アクション

1. 展開仮想アプライアンスにログインします。
2. `.ansible/ansible.log` ファイルを開きます。
3. 失敗した最後の `site.yml` 実行コマンドを特定します。

### 例：

```
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts site.yml --extra-vars {"hux_svc_ignore_stop":true} --limit ak-cs-ccp-esx-comp0002-clm,ak-cs-ccp-esx-ovsvapp0002-clm
```

4. コマンドをコピーします。
5. その他のすべての Playbook の実行が完了したことを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
tailf .ansible/ansible.log
```

6. まだ Playbook が実行されている場合は、すべてのアクティビティが完了するまで待ちます。
7. 以下のディレクトリに切り替えます。

```
cd scratch/ansible/next/hos/ansible/
```

8. 次のコマンドを実行します。

```
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts site.yml --limit ak-cs-ccp-esx-comp0002-clm,ak-cs-ccp-esx-ovsvapp0002-clm.
```

# vCenter でブレードをスワップアウトすると、HPE OneView でエラーメッセージが表示される

## 症状

HPE OneView に `There is no server hardware in <name> bay. Locked` というエラーメッセージが表示されますが、OpenStack にはインスタンスに対するエラーが表示されません。

## 原因

再挿入されたサーバーのブート後、`novaproxy` および `novaworkload` が開始されましたが、`OVSvapp` が実行されていません。

## アクション

1. vCenter にログインします。
2. スワップされたサーバーを選択します。
3. 右クリックして **[Power]** → **[Power On]** を選択します。
4. **[Summary]** タブで、仮想マシンメッセージの下の **[I Moved It]** を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. サーバーが稼働中であることを確認します。

## 4 管理アプライアンスとオペレーションコンソールのトラブルシューティング

- HPE OneView アプライアンスへの接続のテストが成功しない (13 ページ)
- アプライアンスが 2 回接続されているため、HPE OneView の検出が成功しない (13 ページ)
- オペレーションコンソールが応答しない (14 ページ)
- Keystone サービスのパスワード変更後に、オペレーションコンソールアプライアンスの画面にデータが表示されない (14 ページ)
- 新しいコンピュートの詳細ページに移動しても、アラームカウントが更新されない (15 ページ)
- Keystone サービスのパスワードを変更すると、バックアップが失敗する (15 ページ)
- RabbitMQ サービスのパスワードを変更すると、バックアップおよび HPE OneView との統合が失敗する (16 ページ)
- サービスのパスワードを変更した後、オペレーションコンソールを起動できない (16 ページ)
- 最初の管理アプライアンスがダウンしている場合、ストレージ操作が無期限にキューに入る (17 ページ)

### HPE OneView アプライアンスへの接続のテストが成功しない

#### 症状

オペレーションコンソール統合ツールの画面で **[Test Connection]** をクリックすると、次のエラーが表示されます。

```
HPE OneView Test Connected Failed for <HPE OneView IP address>: HPE OneView login failed.  
An unexpected error occurred while communicating with host.
```

#### 原因

HPE OneView アプライアンスのバージョンは、2.00.07 です。このバージョンは Helion CloudSystem 10.0 でサポートされていますが、HPE OneView と統合された Helion CloudSystem の機能を有効にするには、将来のバージョンの HPE OneView が必要です。

#### アクション

より新しいバージョンが利用可能になったら、HPE OneView をアップデートしてください。

**HPE Software Depot から HPE OneView をダウンロード**

### アプライアンスが 2 回接続されているため、HPE OneView の検出が成功しない

#### 症状

オペレーションコンソールの **[Hardware]** 画面で、マネージドサーバーが **[HPE OneView/Synergy Servers]** タブに表示されず、次のエラーが表示されます。

```
Discovery of HPE OneView nnn failed with exception (pymysql.err.IntegrityError)  
(1062, u"Duplicate entry 'nnn' for key 'PRIMARY'")
```

#### 原因

1 度は FQDN を使用して、もう 1 度は IP アドレスを使用して、同じ HPE OneView アプライアンスを 2 度接続しています。

## アクション

1. 管理者の認証情報を使用して、オペレーションコンソールにログインします。
2. **[System]**→**[Integrated Tools]** 画面に進みます。
3. **[HPE OneView]** ペインで、**[Manage]** を選択します。
4. 一番新しく追加された HPE OneView アプライアンスへの接続を削除します。
5. **[Hardware]** 画面で、HPE OneView のマネージドサーバーの検出を再試行します。

## オペレーションコンソールが応答しない

### 症状

展開アプライアンスから `csoperate service` コマンドを使用して `opsconsole` サービスを停止および開始しても、`opsconsole` サービスが開始されません。管理アプライアンスの `opsconsole` サービスのステータスは、引き続き **[Not Running]** と表示されます。例：

```
csoperate service status cs10cloud-ccp-management
showing service status on appliance: cs10cloud-ccp-management
+-----+
| Service          Appliance              Status          |
+-----+
| opsconsole       cs10cloud-ccp-management  Not Running   |
| monasca-agent    cs10cloud-ccp-management  Running         |
| haproxy          cs10cloud-ccp-management  Running         |
| apache2          cs10cloud-ccp-management  Running         |
| memcached        cs10cloud-ccp-management  Running         |
| keystone         cs10cloud-ccp-management  Running         |
+-----+
```

### 原因

`csoperate` によって呼び出される Ansible の Playbook が、`opsconsole` サービスを正常に起動できないことがあります。

### アクション

1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
2. `apache2` サービスを停止し、その後開始します。

```
csoperate service stop apache2 cs10cloud-ccp-management
csoperate service start apache2 cs10cloud-ccp-management
```
3. `opsconsole` サービスが実行されていることを確認します。

```
csoperate service status all
```

## Keystone サービスのパスワード変更後に、オペレーションコンソールアプライアンスの画面にデータが表示されない

### 症状

**[Appliances]** 画面で情報を表示できません。オペレーションコンソールの **[Alarms]** 画面に次のエラーが表示されます。

```
Appliance list get error
```

### 原因

Keystone Playbook が `opsconsole` サービスを正常に起動できません。

### アクション

1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
2. Keystone Playbook を再度実行します。

```
cd ~/scratch/ansible/next/hos/ansible/  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts hlm-keystone-credentials-change.yml
```

3. オペレーションコンソールからログアウトし、再度ログインします。
4. [Appliances] 画面の表示を再試行します。

## 新しいコンピュートの詳細ページに移動しても、アラームカウントが更新されない

### 症状

前回のコンピュートの詳細ページのアラームカウントが、次のコンピュートの詳細ページでも表示されます。

### 原因

アラームアカウントが、前回表示したコンピュートの詳細ページからコンパイルされています。

### アクション

コンピュートの詳細ページの表示を更新して、正確なアラームアカウントを表示させます。

## Keystone サービスのパスワードを変更すると、バックアップが失敗する

### 症状

Keystone サービスのパスワードを変更すると、バックアップを作成できなくなります。オペレーションコンソールに次のエラーが表示されます。

```
An error occurred retrieving Backup and Restore information
```

### 原因

サービスオペレーションによっては、他のサービス呼び出すためパスワードを同時に変更する必要があります。

### アクション

次の**いずれか**を実行します。

- Keystone のパスワードを変更した後に、出力 `reconfigure.yml` を使用して MySQL パスワードを変更します。Attis を使用したバックアップが実行可能になります。
- Keystone のパスワードを変更した後に、Attis のパスワードを変更します。
  1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
  2. `attis-reconfigure` の Playbook を実行します。

```
cd ~/scratch/ansible/next/hos/ansible/  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts attis-reconfigure.yml
```
  3. バックアップの作成を再試行します。

### 詳細情報

パスワード変更プロセスの詳細な手順は、『[HPE Helion OpenStack 3.0: Changing Service Passwords](#)』（英語）を参照してください。

# RabbitMQ サービスのパスワードを変更すると、バックアップおよび HPE OneView との統合が失敗する

## 症状

RabbitMQ サービスのパスワードを変更すると、バックアップが作成できなくなります。

- オペレーションコンソールに次のエラーが表示されます。  
An error occurred retrieving Backup and Restore information
- [Hardware] 画面で、HPE OneView で管理されるサーバーを表示できなくなります。オペレーションコンソールに次のエラーが表示されます。  
Error getting OneView Count:  
Service threw exception Unauthorized (HTTP 401)

## 原因

サービスオペレーションによっては、他のサービスを呼び出すためパスワードを同時に変更する必要があります。

## アクション

次の**いずれか**を実行します。

- RabbitMQ のパスワードを変更した後に、`hlm-reconfigure.yml` を使用して MySQL のパスワードを変更します。Attis を使用したバックアップおよび Ace を使用した HPE OneView の統合が実行できるようになります。
- RabbitMQ のパスワードを変更した後に、Attis および Ace のパスワードを変更します。
  1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
  2. Attis-reconfigure の Playbook を実行します。

```
cd ~/scratch/ansible/next/hos/ansible/  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts attis-reconfigure.yml
```
  3. Cs-ace-reconfigure の Playbook を実行します。

```
cd ~/scratch/ansible/next/hos/ansible/  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts cs-ace-reconfigure.yml
```
  4. バックアップの作成を再試行します。
  5. [Integrated Tools] 画面から、HPE OneView アプライアンスの表示を再試行します。

## 詳細情報

パスワード変更プロセスの詳細な手順は、『[HPE Helion OpenStack 3.0: Changing Service Passwords](#)』（英語）を参照してください。

# サービスのパスワードを変更した後、オペレーションコンソールを起動できない

## 症状

ブラウザでのオペレーションコンソールを起動しようとする、次のエラーが表示されません。

```
Backend services are not running
```

## 原因

`change service password` の Playbook によって、`apache2` サービスが自動的に再起動されません。



## アクション

1. スタック認証情報を使用して、最初の管理アプライアンス (Mgmt-m1) に SSH でアクセスします。
2. apache2 サービスを再起動します。  
`sudo service apache2 restart`
3. 2 番目と 3 番目の管理アプライアンス (Mgmt-m2 および Mgmt-m3) に対して、手順 1 および 2 を繰り返します。
4. オペレーションコンソールの起動を再試行します。

## 最初の管理アプライアンスがダウンしている場合、ストレージ操作が無期限にキューに入る

### 症状

ストレージノードのアクティブ化または非アクティブ化操作が **[Activating]** または **[Deleting]** ステータスで長時間キューに入り、進行しません。

### 原因

最初の管理アプライアンスがダウンして、ストレージ操作が 2 番目または 3 番目の管理アプライアンスにフェイルオーバーできません。Sirius サービスは HA サービスですが、Sirius の内部コンポーネントである RPC レイヤーは HA サービスではなく、最初の管理アプライアンス (mgmt-m1) 以外では実行できません。

## アクション

3 つの管理アプライアンスのうち、残り 2 つのいずれか (mgmt-m2 または mgmt-m3) のノードにコントロールを切り替えます

1. スタック認証情報で展開ノードにログインします。
2. `~/Helion/my_cloud/config/sirius/sirius_settings.yml` ファイルを編集します。
3. 適切な `sirius_active_rpc_host_index` の値を設定します。

値は mgmt-m1 に対しては 0、mgmt-m2 に対しては 2、mgmt-m3 に対しては 2 を設定します。

```
# Sirius Settings
```

```
# The sirius_active_rpc_host_index value specifies the index in the list of  
# Sirius nodes of the host where the Sirius RPC services run. By default  
# the first node (index = 0) is used. To use another node, please specify the  
# appropriate index value for that node.
```

```
# Note: Leave a space between the colon and the index number.  
sirius_active_rpc_host_index: 1
```

4. 変更を宣言します。

```
cd ~/helion/hos/ansible  
git add -A  
git commit -m "Updated Sirius RPC Host"  
ansible-playbook -i hosts/localhost ready-deployment.yml
```

```
cd ~/scratch/ansible/next/hos/ansible  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts sirius-reconfigure.yml
```

5. キューに入った **[Activating]** または **[Deleting]** ステータスの要求が、自動的に新しいアプライアンス (上記の例では 2 番目の管理アプライアンス) に引き継がれたことを確認します。ストレージノードのステータスは **[Activated]** または **[Deleted]** になります。

## 5 クラウドコントローラーと OpenStack ユーザーポータル のトラブルシューティング

- KVM グループに権限が適切に設定されていないため、RHEL KVM インスタンスを起動できない (18 ページ)
- 大規模な ESXi 環境で、インスタンスへのボリュームの接続がタイムアウトする (18 ページ)
- プロジェクト管理者としてプロジェクトのメンバーを管理しようとしても、ユーザーまたはグループのリストを取得できない (19 ページ)

### KVM グループに権限が適切に設定されていないため、RHEL KVM インスタンスを起動できない

#### 症状

RHEL KVM コンピュートホストでの仮想マシンインスタンスの起動に成功しません。次のエラーが表示されます。

```
Original error from libvirt:  
internal error: process exited while connecting to monitor:  
libvirt: error: cannot execute binary /usr/libexec/qemu-kvm: Permission denied
```

#### 原因

KVM グループに権限が適切に設定されていません。

#### アクション

1. RHEL KVM コンピュートホストにログインします。
2. KVM グループに適切な権限を設定します。

```
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# lsmod | grep kvm  
kvm_intel          162153  0  
kvm                525259  1 kvm_intel  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# rmmmod kvm_intel  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# rmmmod kvm  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# lsmod | grep kvm  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# modprobe kvm_intel  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# modprobe kvm  
[root@R1N-cp1-comp0001-mgmt log]# lsmod | grep kvm  
kvm_intel          162153  0  
kvm                525259  1 kvm_intel
```

3. インスタンスの起動を再試行します。

### 大規模な ESXi 環境で、インスタンスへのボリュームの接続がタイムアウトする

#### 症状

2,200 を超えるインスタンスにスケーリングした後、25 を超えるインスタンスを同時にトリガーした場合、ESXi にプロビジョニングされた仮想マシンインスタンスにボリュームを接続できません。次のエラーが表示されます。

```
Timed out waiting for a reply
```

#### 原因

指定した RPC タイムアウト中に ESXi で処理できる要求の数を超えました。

## アクション

1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
2. ルート認証情報に切り替えます。

```
sudo su
```

3. /Home/stack/helion/my\_cloud/config/cinder/cinder.conf.j2 のファイルを編集します。
4. RPC タイムアウトの値を 180 秒に変更します。

```
rpc_response_timeout = 180
```

5. 変更を宣言します。

```
cd /home/stack/helion/hos/ansible  
git add -A  
git commit -m "Increased RPC timeout value"
```

6. 構成を確認し、Cinder を再構成します。

```
cd ~/helion/hos/ansible/  
ansible-playbook -i hosts/localhost config-processor-run.yml  
ansible-playbook -i hosts/localhost ready-deployment.yml  
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts cinder-reconfigure.yml
```

## プロジェクト管理者としてプロジェクトのメンバーを管理しようとしても、ユーザーまたはグループのリストを取得できない

### 症状

プロジェクト管理者として OpenStack ユーザーポータルにログインし、いずれかのアクションを選択してプロジェクトを編集または管理しようとする、次のようなエラーが表示されません。

```
Error: Unable to obtain group list. Please try again later.
```

```
Error: Unauthorized: Unable to retrieve user list. Please try again later.
```

### 原因

プロジェクトの管理者は、プロジェクトを編集または管理できません。

### アクション

プロジェクトを管理するには、クラウド管理者またはLDAP ドメインの管理者として OpenStack ユーザーポータルにログインします。

## 6 エンタープライズアプライアンスのトラブルシューティング

- エンタープライズアプライアンスを再起動すると、ダウンしたサービスのステータスがオペレーションコンソールに適切に表示されない (20 ページ)
- エンタープライズアプライアンスの予期しないシャットダウンまたは再起動後、HPE CSA にエラーが表示される (21 ページ)
- HPE OneView または ICsp プロバイダーを使用してトポロジコンポーネントをインポートできない (21 ページ)
- 1つ以上の外部ネットワークがあるため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する (22 ページ)
- プライベートネットワークの名前にピリオドが含まれているため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する (22 ページ)
- 複数のアベイラビリティゾーンがあるため、OpenStack プロバイダーを使用した、ブロックストレージボリュームを含むサブスクリプションのデプロイが失敗する (22 ページ)
- サービスインスタンスのアップグレード機能でシーケンス設計をアップグレードできない (23 ページ)

### エンタープライズアプライアンスを再起動すると、ダウンしたサービスのステータスがオペレーションコンソールに適切に表示されない

#### 症状

再起動後、**csa** および **mpp** サービスはオペレーションコンソールの **[Alarms Summary]** 画面で、ダウンステータスで適切に表示されます。これは、予期される動作です。

**HPOOCentral** および **monasca-agent** サービスはダウンしていますが、誤って実行中ステータスで表示されます。

#### 原因

エンタープライズアプライアンスの再起動後、サービスを手動で再起動する必要があります。これらのサービスのステータスは、オペレーションコンソールに正しく送信されません。

#### アクション

1. スタック認証情報で最初のエンタープライズアプライアンス (`<cloud.host-prefix>-ccp-ea-m1-<network>`) にログインします。
2. 次のサービスを再起動します。

```
sudo service csa restart
sudo service mpp restart
sudo service HPOOCentral restart
sudo service monasca-agent restart
```
3. 2 番目と 3 番目のエンタープライズアプライアンス (`<cloud.host-prefix>-ccp-ea-m2-<network>` および `<cloud.host-prefix>-ccp-ea-m3-<network>`) に対して、手順 1 および 2 を繰り返します。
4. オペレーションコンソールの **[Alarms Summary]** 画面で、サービスが起動していることを確認します。

# エンタープライズアプライアンスの予期しないシャットダウンまたは再起動後、HPE CSA にエラーが表示される

## 症状

予期しないシャットダウンの後に仮想アプライアンスを元に戻し、`csoperate` を実行してすべてのアプライアンスおよびサービスを起動した後、HPE CSA にログインできません。

## 原因

HPE CSA 向けの Playbook が適切に実行されませんでした。

## アクション

1. 展開仮想アプライアンスにログインします。
2. パス~/scratch/ansible/next/hos/ansible に移動します。
3. 次のコマンドを実行して Playbook を再起動します。

```
ansible-playbook -i hosts/verb_hosts cs-enterprise-stop.yml ansible-playbook -i hosts/verb_hosts cs-enterprise-start.yml
```

4. HPE CSA でログインアクションを再試行します。

# HPE OneView または ICsp プロバイダーを使用してトポロジコンポーネントをインポートできない

## 症状

HPE CSA に HPE OneView または nsight Control サーバープロビジョニングをインポートした後、トポロジコンポーネント（サーバープロファイルまたはビルドプランなど）をインポートしようとする、次のエラーが表示されます。

```
Failed to establish connection to <OneView or ICsp> instance  
Check the configuration of the provider
```

## 原因

HPE CSA に HPE OneView または ICsp 証明書をインポートしていません。

## アクション

1. HPE CSA に証明書をアップロードします。  
**HPE Live Network**（英語）で、「Capsule HPE OneView - Topology」コンテンツの zip ファイル内の指示に従ってください。
2. （オプション）本番環境以外では、証明書の検証を無効にできます。  
証明書の検証の無効化が、組織のセキュリティポリシーに従っていることを確認してください。
  - a. 管理者の認証情報を使用して、HPE CSA クラウドサービス管理コンソールにログインします。
  - b. [Providers] タイルを選択します。
  - c. OneView または ICsp プロバイダーを選択します。
  - d. [Properties] タブを選択します。
  - e. **[TrustAllRoots]** プロパティのギアアイコンを選択し、[Edit] を選択します。
  - f. プロパティの値を **True** に変更します。
  - g. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
  - h. `csa` サービスを停止し、その後開始します。

```
csoperate service stop enterprise-csa <prefix>-ccp-enterprise  
csoperate service start enterprise-csa <prefix>-ccp-enterprise
```

3. トポロジコンポーネントのインポートを再試行します。

## 1 つ以上の外部ネットワークがあるため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する

### 症状

サブスクリプションを展開すると、「Deploying Floating IP」ステップで次のエラーが表示されます。

```
Deployment failed at FIP allocation
(result=Error deploying openstack floating IP (External Network nnn could not be found.),
(response=failure))
```

### 原因

環境に 1 つ以上の外部ネットワークが含まれています。OpenStack コンテンツパックで外部ネットワークはサポートされていません。

### アクション

1 つの外部ネットワークを含む環境で OpenStack コンテンツパックを使用するように構成します。

## プライベートネットワークの名前にピリオドが含まれているため、OpenStack プロバイダーを使用したサブスクリプションの展開が失敗する

### 症状

サブスクリプションを展開すると、「Get IP Addresses」ステップで次のエラーが表示されます。

```
Key does not exist in JavaScript object.
Error rolling back deployment of openstack server
```

### 原因

たとえば `network.1` など、プライベートネットワークの名前にピリオドが含まれています。この文字は、OpenStack コンテンツパックでサポートされていません。

### アクション

1. プライベートネットワークの名前を編集し、ピリオドを削除します。
2. サブスクリプションの起動を再試行します。

## 複数のアベイラビリティゾーンがあるため、OpenStack プロバイダーを使用した、ブロックストレージボリュームを含むサブスクリプションのデプロイが失敗する

### 症状

マーケットプレイスポータルで、ブロックストレージボリュームを含むサブスクリプションが失敗します。

### 原因

OpenStack 環境に、デフォルトの nova アベイラビリティゾーン以外のアベイラビリティゾーンが含まれています。OpenStack Cinder は、nova アベイラビリティゾーンのみをサポートしており、HPE CSA の設計では nova アベイラビリティゾーンを選択できません。

## アクション

1. 設計を編集し、ブロックストレージボリュームを削除します。
2. サブスクリプションの起動を再試行します。

# サービスインスタンスのアップグレード機能でシーケンス設計をアップグレードできない

## 症状

HPE CSA でサービスのアップグレードアクションを選択すると、Error Calculating offering price based on subscription options: Unable to get dynamic list property values というエラーが表示されます。

## アクション

希望のアップデートを含む新しいシーケンス設計を作成し、サブスクリプションを送信します。

## 7 監視のトラブルシューティング

- [コンピュートホストを非アクティブ化した後にアラームが削除されない \(24 ページ\)](#)

### コンピュートホストを非アクティブ化した後にアラームが削除されない

#### 症状

コンピュートホストを非アクティブ化した後に、そのコンピュートホストに対するアラームがトリガーされます。

#### 原因

コンピュートホストを非アクティブ化した際に、Monasca-agent サービスがアップデートされていません。

#### アクション

1. 最初の監視のアプライアンス (<cloud.host-prefix>-ccp-mon-m1-<network>) にスタック認証情報でログインします。
2. ルート認証情報に切り替えます。  

```
sudo su
```
3. /Etc/monasca/agent/conf.d/host\_alive.yaml のファイルを編集します。
4. 非アクティブ化したコンピュートホストへの参照を削除します。以下はコンピュートホストのエントリーの例です。  

```
- alive_test: ping
  built_by: HostAlive
  host_name: helion-cp1-comp0001-mgmt
  name: helion-cp1-comp0001-mgmt ping
```
5. Monasca-agent サービスを再起動します。  

```
sudo service monasca-agent restart
```
6. 非アクティブ化したコンピュートホストのアラームを探します。  

```
monasca alarm-list --metric-dimensions hostname=<compute host deactivated>
```

例:

```
monasca alarm-list --metric-dimensions hostname=helion-cp1-comp0001-mgmt
```
7. 手順 6 で返されるアラーム ID を使用して、アラームを削除します。  

```
monasca alarm-delete <alarm ID>
```
8. 2 番目と 3 番目の監視アプライアンスに対して手順 4 を繰り返します。



## 8 バックアップ、復元、リカバリのトラブルシューティング

- バックアップまたは復元が正常に完了した後も、Attis のジョブタスクが進行中のままになる (25 ページ)
- バックアップログに複数のエントリが表示される (25 ページ)

### バックアップまたは復元が正常に完了した後も、Attis のジョブタスクが進行中のままになる

#### 症状

バックアップまたは復元ジョブの間、ジョブ自体のステータスは [Completed] または [Failed] であるにもかかわらず、ジョブタスクが [In\_Progress] のままである場合があります。

#### 原因

タスクのステータスが適切にアップデートされない場合があります。

#### アクション

ジョブが完了した後は、進行中のタスクを無視してください。以下を入力すると、バックアップまたは復元ジョブの適切なステータスが表示されます。

```
stack@env-ccp-mgmt-m1-clm:~$ attis job --id <job ID>
```

### バックアップログに複数のエントリが表示される

#### 症状

バックアップログおよびジョブリストに複数のエントリが表示されます。

#### 原因

メッセージングサービスは、複数の管理アプライアンスで断続的にバックアップジョブを処理します。

#### アクション

復元アクションを実行する前に、バックアップファイルのサイズをチェックします。バックアップファイルのサイズが「0」場合は、以前の正常なバックアップを選択します。

## 9 コマンドラインインターフェイスのトラブルシューティング

- 1 度に 1 つの `csoperate` コマンドしか実行できない (26 ページ)

### 1 度に 1 つの `csoperate` コマンドしか実行できない

#### 症状

別のコマンドを実行中に `csoperate` コマンドを実行すると、次のエラーが表示されます。

```
stack@env32-ccp-c0-m1-clm:~$ csoperate service stop percona cs10cloud-ccp-enterprise
Another csoperate is running. Waiting ...
'NoneType' object has no attribute '_getitem_'
```

#### 原因

`Csoperate CLI` は、「シングルトン」サービスです。

#### アクション

この問題を回避するには、別のコマンドを実行する前に各コマンドが完了するのを待ちます。コマンドがハングし、そのコマンドを削除する場合は次を実行します。

1. スタック認証情報で展開アプライアンスにログインします。
2. 次のコマンドを実行します。

```
ps -ef|grep csoperate
sudo kill -9 <process_id>
```

3. `Csoperate` コマンドの実行を再試行します。

### `csoperate` を使用した NTP サーバーのアップデートに、手動によるインストールオプションファイルの変更が要求される

#### 症状

`csoperate network update-ntp` コマンドが失敗し、次のエラーが表示されます。

```
csoperate csoperate network update-ntp
fatal: [localhost] => Syntax Error while loading YAML script,
/home/stack/helion/cs/cs-install-options.yml
FATAL: all hosts have already failed - aborting
PLAY RECAP *****
Network | reconfig | NTP servers | Add new ntp servers in flat file ----- 0.13s
Network | reconfig | NTP servers | Delete old ntp servers in flat file - 0.13s
Network | reconfig | NTP servers | Validate NTP servers ----- 0.02s
include_vars cs_config_file ----- 0.02s
fail msg='Need input for ntp servers' ----- 0.01s
```

#### 原因

CLI が、`~/helion/cs/cs-install-options.yml` ファイルの `ntp-servers:` 行を誤ってインデントしています。

#### アクション

1. スタック認証情報を使用して、展開アプライアンスにログインします。
2. `~/Helion/cs/cs-install-options.yml` のファイルを編集します。
3. `ntp-servers:` に上の行と同じ数のスペースがインデントされるように、`ntp-servers:` 行のインデントを変更します。

たとえば、次のように変更します。

```
host-prefix: env01
ntp-servers:
- 10.1.64.44
```

#### 変更後

```
host-prefix: env01
ntp-servers:
- 10.1.64.44
```

# A サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。  
[www.hpe.com/assistance](http://www.hpe.com/assistance)
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。  
[h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163](http://h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163)

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービス

ご購入いただいた Helion CloudSystem 製品には、1 年間、24 時間年中無休の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。また、HPE OneView と合わせてご購入いただいた、または Converged System と合わせてご注文いただいた HPE Helion CloudSystem 製品には、3 年間、24 時間無休のソフトウェアテクニカルサービスおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスでは、ソフトウェアの実装および操作に関する問題を解決するために役立つ、HPE テクニカルリソースにアクセスできます。

また、このサービスでは、ソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルにもアクセスできます。これらは、HPE から電子形式のデータとして入手することも、物理的なメディアとして入手することもできます。電子ライセンスの使用権を購入した場合、電子アップデートのみが利用できます。

このサービスでは、HP Helion CloudSystem のお客様は、ソフトウェアアップデートの通知を受けて入手できるだけでなく、迅速に問題を解決できます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

[www.hpe.com/services/insight-ja](http://www.hpe.com/services/insight-ja)

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

ライセンス権利付与証明書を持っている場合は、オンラインでのライセンス証明書/キーの発行手続きの際にこのサービスに登録されます。

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

登録後、サービスの窓口の電話番号と SAID (Service Agreement Identifier) を含むサービス契約書がメールで送付されます。テクニカルサポートに連絡する場合は、SAID が必要です。

[h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163](http://h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163) から HPE サポートセンターにアクセスし、SAID を使用してオンラインで契約内容を確認できます。

## コンサルティングおよびインストールサービス

HPE Helion CloudSystem インフラストラクチャを正しく展開および操作していただくために、HPE はさまざまな種類のコンサルティング、インストール、サポートのサービスを提供しています。詳細については、[www.hpe.com/jp/ja/services/consulting/cloud](http://www.hpe.com/jp/ja/services/consulting/cloud) を参照してください。

## クラウド向けの HPE データセンターケア

HPE Helion プロフェッショナルサービスの一部であるクラウド向けの HPE データセンターケアは、Helion CloudSystem のハードウェアおよびソフトウェアの運用環境をサポートする柔軟なサービスを提供します。詳細については、[www.hpe.com/services/dccloud](http://www.hpe.com/services/dccloud)（英語）を参照してください。

## セキュリティ管理

HPE は、すべての管理ソフトウェアの品質とセキュリティに積極的なアプローチを取っています。[www.hpe.com/support/e-updates-ja](http://www.hpe.com/support/e-updates-ja) で、ダウンロード可能な最新のセキュリティアップデートにご登録ください。

## ディスカッションへの参加

HPE サポートセンター（[h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476097254018.125225703.1851288163](http://h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476097254018.125225703.1851288163)）は、コミュニティベースの、ユーザーによるフォーラムです。HPE のお客様は、HPE の製品に関するカスタマーコミュニティによるディスカッションにご参加いただけます。

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
  - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：  
[www.hpe.com/support/e-updates-ja](http://www.hpe.com/support/e-updates-ja)
  - Software Depot の Web サイト：  
[h20392.www2.hpe.com/portal/swdepot/index.do?lc=ja\\_JP](http://h20392.www2.hpe.com/portal/swdepot/index.do?lc=ja_JP)
  - ソフトウェアおよびドライバーダウンロードページ  
HPE サポートセンターは、HPE Helion CloudSystem 製品に向けた最新のソフトウェアおよびドライバーを提供します。Helion CloudSystem Enterprise のお客様には、HPE Live Network（[hpln.hpe.com](http://hpln.hpe.com)）（英語）で追加コンテンツを提供しています。
  - ProLiant のリリースに向けたサポートパック  
最新の SPP は、[www.hpe.com/jp/servers/spp\\_dl](http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl) で入手できます。リリース時に通知を受けるには、[www.hpe.com/support/e-updates-ja](http://www.hpe.com/support/e-updates-ja) でサインアップします。
- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの「More Information on Access to Support Materials」ページに移動します。  
[www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials](http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials)

- ① **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163">h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc?ac.admitted=1476155287890.125225703.1851288163</a>
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	<a href="http://www.hpe.com/assistance">www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Software Depot	<a href="http://h20392.www2.hpe.com/portal/swdepot/index.do">h20392.www2.hpe.com/portal/swdepot/index.do</a>
HPE Live Network	<a href="http://hpln.hpe.com">hpln.hpe.com</a> (英語)
カスタマーセルフリペア	<a href="http://h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc/public/csr/more?ac.admitted=1476156599674.125225703.1851288163">h20565.www2.hpe.com/portal/site/hpsc/public/csr/more?ac.admitted=1476156599674.125225703.1851288163</a>
Insight Remote Support	<a href="http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs">www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</a>
Serviceguard Solutions for HP-UX	<a href="http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs">www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">www.hpe.com/storage/spock</a>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">www.hpe.com/storage/whitepapers</a>
Hewlett Packard Enterprise 製品販売店を探す	米国内の場合は、「U.S. partner and store locator」の Web サイトを参照してください。 <a href="http://www.hpe.com/support/service_locator">www.hpe.com/support/service_locator</a> 他の地域では、「Contact Hewlett Packard Enterprise」の Web サイトを参照してください。 <a href="http://www.hpe.com/contact">www.hpe.com/contact</a>
クラウド向けの HPE データセンターケア	<a href="http://www.hpe.com/services/dccloud">www.hpe.com/services/dccloud</a> (英語)

## 参考ドキュメント

HP CSA、Operations Orchestration (OO) など、HP Helion CloudSystem のマニュアルとホワイトペーパーの最新バージョンは、Enterprise Information Library ([www.hp.com/go/CloudSystem/docs](http://www.hp.com/go/CloudSystem/docs)) からダウンロードできます。

## HPE Helion CloudSystem のドキュメント

### ドキュメント

- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 管理者ガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 コマンドラインインターフェイスガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 ESXi インストールガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 KVM インストールガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 ネットワークプランニングガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 リリースノート』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 サポートマトリックス』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 トラブルシューティングガイド』

Helion CloudSystem オペレーションコンソールのオンラインヘルプは、オペレーションコンソールのユーザーインターフェイスでヘルプ制御ボタン (クエスチョンマーク) をクリックすると利用できます。

## HPE Helion OpenStack のドキュメント

以下の製品に関する情報を含む、HPE Helion OpenStack 情報の最新バージョンは『HPE Helion Documentation』（[docs.hpcloud.com](https://docs.hpcloud.com)）で参照できます。

- HPE Helion OpenStack
- HPE Helion Eucalyptus

## HPE Insight Management ドキュメント

HP Matrix Operating Environment のマニュアル、ホワイトペーパー、および『HP Insight Management サポートマトリックス』の最新バージョンは、以下のドキュメントなども含め、『HP Enterprise Information Library』（[www.hp.com/go/matrixoe/docs](http://www.hp.com/go/matrixoe/docs)）からダウンロードできます。

- 『HPE Matrix Operating Environment リリースノート』
- 『HPE Insight Management サポートマトリックス』
- 『HPE Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』
- 『HPE CloudSystem Matrix インフラストラクチャオーケストレーションを使用したクラウドバースティング』

## サードパーティのドキュメント

### OpenStack

- **Liberty リリース用の OpenStack ドキュメント**

例外事項（インストール情報など）がほとんどないため、OpenStack ドキュメントは、OpenStack ドキュメント Web サイトに最新のリリースストリームを表示するように常に設定されます。

- 『Cloud Administrator Guide』
- 『Virtual Machine Image Guide』
- 『API Quick Start』
- 『Admin User Guide』
- 『End User Guide』
- コマンドリファレンス
  - Keystone コマンド
  - Glance コマンド
  - Neutron コマンド
  - Nova コマンド
  - Cinder コマンド

### VMware

- **VMware vSphere のドキュメント**

### Microsoft

- **Microsoft Windows Server のドキュメント**
- **Microsoft Hyper-V のドキュメント**

### Red Hat

- **Red Hat Enterprise Linux 7 のドキュメント**

## HPE 3PAR StoreServ のドキュメント

次のドキュメントを含む最新バージョンの 3PAR StoreServ Storage マニュアルは、Enterprise Information Library ([www.hp.com/go/CloudSystem/docs](http://www.hp.com/go/CloudSystem/docs)) の **[Storage]** タブからダウンロードできます。

次のドキュメントを含む HP 3PAR StoreServ Storage のマニュアルは、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからダウンロードすることもできます。

- 『HPE 3PAR StoreServ Storage コンセプトガイド』
- 『HPE 3PAR StoreServ Storage トラブルシューティングガイド』

## HPE VSA StoreVirtual のドキュメント

次のドキュメントを含む最新バージョンの VSA StoreVirtual Storage マニュアルは、Enterprise Information Library ([www.hp.com/go/CloudSystem/docs](http://www.hp.com/go/CloudSystem/docs)) の **[Storage]** タブからダウンロードできます。

- 『HPE StoreVirtual Storage ユーザーガイド』

## HPE ProLiant サーバーのドキュメント

- 『HPE Integrated Lights-Out QuickSpecs』には、サポート情報が掲載されています。次に示す QuickSpecs の Web サイトで入手できます。

[www.hp.com/go/qs](http://www.hp.com/go/qs)

- ProLiant のサーバー情報
  - ProLiant BL BladeSystem サーバー：  
[www.hpe.com/info/blades-ja](http://www.hpe.com/info/blades-ja)
  - ProLiant DL、ML、および SL サーバー  
[www.hpe.com/jp/ja/servers/rack](http://www.hpe.com/jp/ja/servers/rack)

## カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

[www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs](http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs)